

令和8年度 御殿場市議会 議会運営委員会 行政視察報告書

1. 日程 令和8年5月19日（火）

2. 視察先及び視察事項

神奈川県横須賀市

横須賀市議会実行計画「未来への羅針盤2027」について

3. 参加者

委員長 田代 耕一

副委員長 阿久根 真一

委員 神野 義孝 小林 恵美子 中島 宏明 勝又 正人

委員外議員 川上 秀範（議長） 林 義浩（副議長）

事務局 桐生 守（議事課副参事）

瀬戸 順美（議事課主幹）

4. 視察先対応者

横須賀市議会事務局議事課長 川瀬 様

横須賀市議会事務局議事課主査 小泉 様

5. 視察の内容

■横須賀市議会実行計画「未来への羅針盤2027」に

ついて

日時：令和8年5月19日（火） 午後1時30分～午後3時30分

場所：横須賀市役所

視察の目的

議会運営の見える化（目標設定、実行計画、進捗管理、実績評価、改善）に取り組み、持続的かつ発展しつ続ける議会を目指す。

視察先の概要

神奈川県南東にあり、三浦半島中心部分を大きく占める。畑や漁港がある西の相模湾と、電車が通り商店街が多い東の東京湾で、街の雰囲気ががらりと変わる。

日本の重要な海軍基地として長い歴史を持ち、観音崎や三笠記念艦など見所が多い。また、アメリカ海軍基地もあり、異国の雰囲気を楽しむことができる。

人口：363,912人【R8.4.1時点】

議員定数：39人（5会派、無会派議員5人）【R8.4.1時点】

令和8年度一般会計当初予算額：1,801億2千万円

令和8年度議会費当初予算額：7億7,461万8千円

報酬月額：議長67万2千円、副議長61万7千円、議員58万9千円

視察の内容

議会基本条例を基盤とした「議会改革」と「政策形成機能強化」の推進を行っている。政策検討委員会を設置し、議員任期4年を通じ政策立案・議会改革・特別委員会活動などを計画し、実施時期や検討工程を明確にした実行計画を策定している。各会派から施策課題を募集して「提案の趣旨に全会派が賛同し、議会全体で実行計画として取り組むことが相応しい課題であるのか」を、共通度・影響度・緊急度を選考して条例制定や政策提言につなげる仕組みを整備している。また、課題別検討委員会を設置し、細部まで検討している。

それぞれの検討経過（進捗状況）を3カ月ごとに市議会ホームページにて市民に分かりやすく周知し、実行計画の見える化をしている。

考察

議会全体が政策立案に対する意識が強く感じた。また、特筆すべき点は、作成した条例や提言をPDC Aサイクルで定期的に見直している点である。

P l a n（計画）では政策検討会議が政策課題の抽出と選定、D o（実行）では課題別検討会議が政策立案や条例素案・政策提言、C h e c k（検証）では常任委員会による政策の効果や課題を検証、A c t i o n（改善）では検証結果をふまえ、条例改正や執行部への提言を実施しているところであり、およそ条例制定や議員立案は「つくっただけ」になりやすいが、横須賀市議会では常任委員会で検証機能を持たせて定期的に検証している。

横須賀市議会は政策検討委員会や、課題別検討委員会など設置する委員会が多く事務局の人数もこの委員会だけで担当職員が10名と多い。本市議会は各常任委員会において毎年テーマを決め、それに対する「議会報告会」を行い、その時に頂いた市民の声を基に、最終的に「市長提言」を行っているが、その後の政策や事業への反映確認や進捗状況の評価は実施していない。今後、進捗状況や成果・課題の検証を行うことは、改善すべきと考える。

また、本市議会でも議会改革などの取組状況を「市議会のホームページ」や「議会だより」により、市民に向け情報提供していくことも必要と考える。

全体的に考えると、今「何をやらなければならないのか」「何を優先すべきなのか」が明確でなかったが、横須賀市議会を視察させていただき、今の本市議会が向かうべき未来に向けての方向性の「羅針盤」を作成していくことの必要性を強く感じた。



委員会室にて説明を受ける